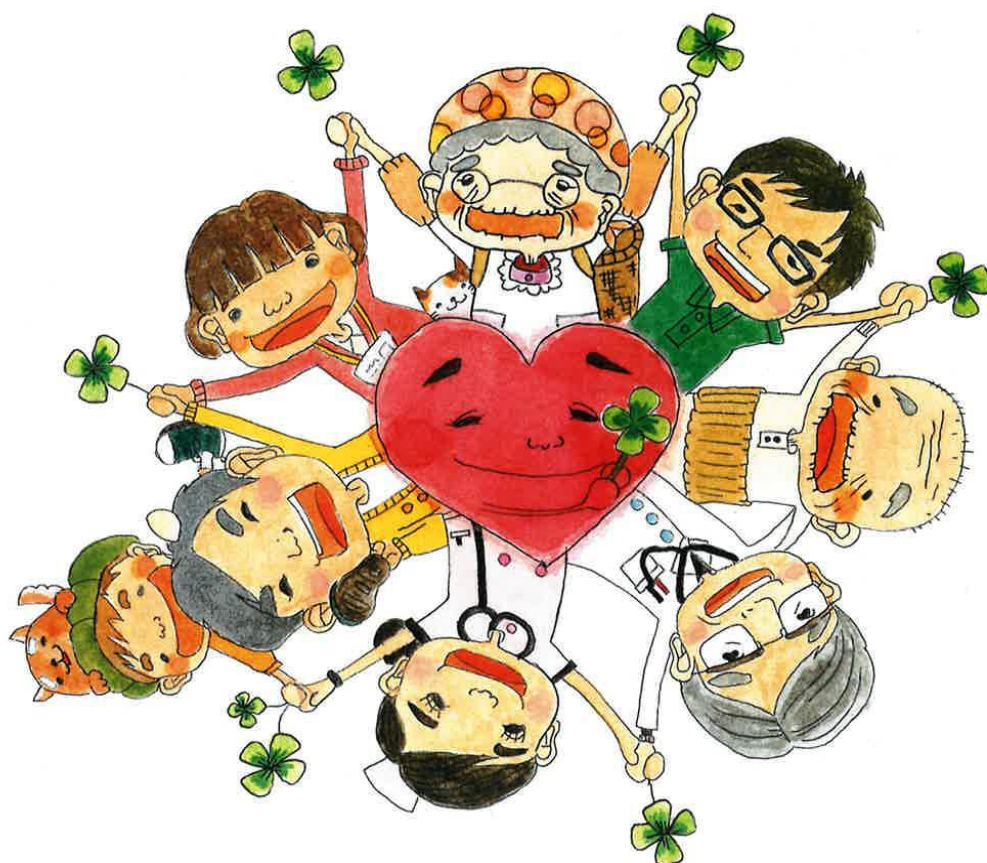


～認知症になっても自分らしく暮らしていくために～

認知症支援の 手引き



日田市

住みなれた地域で安心して暮らしていくために

この「認知症支援の手引き」は、認知症になっても認知症の人や家族が、安心して住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことができるよう、認知症の進行状態に応じて、どのようなサービスや支援を利用できるかをまとめたものです。

たとえば・・・

本人や家族、地域の方が認知症かもと気づいたとき・・・

認知症が進行しているかなと感じたとき・・・

どこに相談すればいいのか、どこでどういったサービスを受けることができるのか、適切なケアやサービスはなにかなど、この手引きを手にとり、役立てていただければ幸いです。

また、生活習慣や価値観が多様化している現在、認知症の方本人がどのようなサービスを望んでいるのか、どういったサービスがその人にとって適切なのかを周囲の人で判断するのはとても難しくなるため、「自分だったらどういうサービスを受けたいか」「自分の親だったらどういう生活を送らせてあげたいか」など、事前に具体的にイメージするための情報としても活用いただければと思います。

今後、認知症の人や家族が、住み慣れた日田で暮らすことができるような地域を目指して、みなさんに少しでも認知症のことを正しく理解していただき、認知症の人やその家族が、認知症を隠すことなく、地域での生活を笑顔で続けられることを願っています。

目 次

■ 認知症の基礎知識	… 1
■ 認知症の予防について	… 5
■ 若年性認知症について	… 6
■ 認知症の人を地域で支える	… 7
■ 日田市認知症支援体制づくりプロジェクト	… 11
■ 私の思いカード	… 13
■ 認知症ケアパス～認知症の経過と対応～	… 14
■ 認知症に関する相談窓口・医療機関	… 15

認知症の基礎知識

脳のはたらき

脳は、人間が生きていくために必要なはたらきをコントロールしている司令塔です。

- ・記憶（覚える・思い出すなど）
- ・感覚（見る・聞くなど）
- ・思考（理解・判断など）
- ・感情（喜び・悲しみなど）
- ・からだ全体の調節（呼吸・睡眠・体温など）



認知症とは？

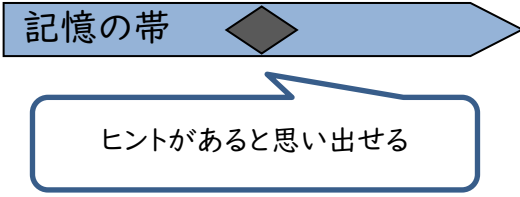
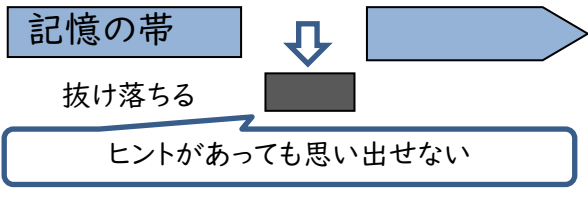
いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために、それまでできていたことができなくなり、日常生活を営むうえで支障が出ている状態をいいます。

主な認知症の種類

- アルツハイマー型認知症・・・もっとも多いタイプの認知症
 - ・脳の細胞が死んで縮んでいき、ゆっくりと進行する。
 - ・新しいことが覚えられない、時間や場所がわからないなどの症状がみられる。
- レビー小体型認知症・・・症状の変動が大きい
 - ・人や動物が目の前にいるように見えるなどの「幻視」が現れる。
 - ・「動きがにぶくなる」「ふるえる」「転びやすい」などのパーキンソン症状がみられる。
- 前頭側頭型認知症・・・反社会的な行動がみられることもある
 - ・65歳未満の若い年齢で発症することが多い。
 - ・がまんしたり思いやりなどの社会性を失い、「わが道を行く」行動をとることがある。
- 脳血管性認知症・・・脳梗塞や脳出血などが原因
 - ・糖尿病、高血圧などの生活習慣病の予防・治療が重要となる。
 - ・意欲の低下や複雑な作業ができなくなったりする。

加齢によるもの忘れと認知症の違い

年齢を重ねるともの忘れが増えてくるのは、脳の老化に伴うものです。一方、認知症は脳の病気による症状のため、老化によるもの忘れとは大きな違いがあります。

	加齢によるもの忘れ	認知症
特徴	体験の一部を忘れる (例:何を食べたか思い出せない)	体験のすべてを忘れる (例:食べたこと自体を忘れる)
進行	あまり進行しない	だんだん進行する
人格	変化しない	変化する (怒りっぽくなる、無関心になる等)
判断力	低下しない	低下する
日常生活	あまり支障はない	支障をきたす
イメージ		

認知症の症状

脳の細胞が壊れることによって直接起こる「中核症状」と、性格や環境などの様々な要因が影響して出現する「行動・心理症状(BPSD)」に分けられます。



脳の細胞が死ぬ

中核症状

記憶障害・・・新しいことが覚えられない、すぐ前のことを忘れてしまう
見当識障害・・・時間、場所、人物などがわからなくなる
理解・判断力の障害・・・考えるスピードが遅くなる、物事の解釈や判断に支障が出る
実行機能障害・・・計画を立て、段取りよく行動できない など

性格・素質

環境・心理状態

行動・心理症状 (BPSD)

不安・焦燥 うつ状態 幻覚・妄想
徘徊 興奮・暴力 不潔行為 その他

早期発見・早期治療について

認知症は、現在完治が難しい病気とされています。しかし、早期発見・早期治療や適切な対処をすることで、認知症の進行を遅らせることや、認知症になってもその人らしい充実した生活を継続することができます。

早期発見・受診のメリット

● 治る病気や一時的な症状の場合がある

・脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、甲状腺ホルモン異常などにより、認知症のような症状が出ることがあります。
この場合、脳外科的処置や内科的治療でよくなります。



● 進行を遅らせることができる

・アルツハイマー型認知症は、早期ほど服薬で進行を遅らせることができるといわれています。適切な治療やサポートを行うことで、充実した生活を継続することも可能になります。

● 今後に備えて必要な準備ができる

・症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療・介護方針を決めたり、利用できるサービスを調べたりと、認知症に向き合うための準備を整えることができます。



軽度認知障害(MCI)とは

軽度認知障害(MCI)とは、いわゆる認知症の前段階のことで、軽い記憶障害などはあっても基本的に日常生活は大きな支障なく送れる状態です。この段階を見逃さずに発見して、生活習慣の見直し・改善に取り組むことで認知症への移行を予防、または先送りできるといわれています。

異変のサインを見逃さず、早めに相談・受診することが大切です。



認知症早期発見のためのめやす

認知症にはさまざまな症状があります。以下は「認知症の人と家族の会」が会員の経験からまとめた早期発見の目安です。

いくつか思いあたることがあれば、早めに相談してみましょう。

●物の忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

●判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった



●時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

●人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

●不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える



●意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎこんで何をするのも億劫がりいやがる

出典：公益社団法人 認知症の人と家族の会 作成

認知症の予防について

認知症発症のリスクを少なくするには、生活習慣病の予防・対策と、脳の活性化を図ることが大切といわれています。

ご自分の生活習慣を振り返ってみましょう。

生活習慣病対策

- 高血圧・糖尿病・脂質異常症・肥満などの生活習慣病に気をつけましょう
- 運動（身体活動）など、積極的に体を動かしましょう
- 減塩や野菜摂取を心がけ、栄養バランスよく食事をとりましょう
- 生活リズムを整えましょう

脳の活性化

- たくさん笑いましょう!!
- たくさんおしゃべりしましょう!!
- 役割、生きがいなどの楽しみをもちましょう!!
- 適度に運動しましょう!!

楽しく脳を活性化♪
参加してみませんか？

認知症予防教室～すずめの学校

市内各地で、自治会や公民館が主体となり、認知症予防教室（すずめの学校）の取組が広がっています。

◎頻度：週1回～月1回

◎内容：計算、音読、柔軟体操、ラジオ体操、歌を歌う、お茶と座談など



詳細については下記にお問い合わせください。

長寿福祉課長寿福祉係	22-8299
中央地域包括支援センター	23-2552
西部地域包括支援センター	26-0036
東部地域包括支援センター	22-0248
南部地域包括支援センター	57-9012

若年性認知症について

若年性認知症とは

65歳未満で発症する認知症を総称して「若年性認知症」といいます。
若年性認知症の発症初期には、「もの忘れ」がほとんど目立たない場合があります、うつや体調不良と間違われやすい症状があります。
この世代の人は、就労・子育て・介護など、さまざまな問題を抱えることになり、本人や家族にとって、身体的にも精神的にも、経済的にも大きな影響を及ぼすこととなります。

～こんなサインがあります～

- 物を探していることが多くなる
- 複数の仕事が同時にできない
- 仕事でミスが目立つ
- 約束を忘れる
- 考えがまとまらない
- やる気が出ない

若年性認知症相談窓口

	住所	電話番号
若年性認知症支援 コーディネーターの相談	大分市明野東3丁目4番1号 (大分県社会福祉介護研修センター内) 公益社団法人 認知症の人と家族の会 大分県支部	097-552-6897 (10:00~15:00) (火・水・木・金・土曜日)※祝日は除く

若年性認知症 コールセンター(全国)	0800-100-2707 フリーダイヤル(無料)月・火・木・金・土曜日 10:00~15:00 水曜日 10:00~19:00 (年末年始・祝日を除く)
-----------------------	--

専門医療相談

認知症疾患医療センター(上野公園病院)では、ご本人やご家族・関係機関からの認知症のご相談に、専任の相談員が応じます。(P15)



認知症の人を地域で支える

認知症の人への接し方

認知症の症状には、本人が最初に気づくことが多いようです。

認知症が進むと、段取りがうまくできなくなり、今までできていたのにできなくなることが徐々に増えてきます。また、言われても思い出せないなどの認知症特有の「もの忘れ」が重なると、自分に何かが起こっているという不安を感じ始めます。

誰よりも心配し、苦しみ、悲しんでいるのは認知症になった本人だということを考えながら接することが大切です。

認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

1. 驚かせない 2. 急がせない 3. 自尊心を傷つけない

●具体的な対応 7つのポイント●

1. まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人や他の人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。

近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。

2. 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

3. 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけます。

4. 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物。

「何かお困りですか?」「お手伝いしましょうか?」「どうなさいましたか?」

「こちらでゆっくりどうぞ」など。

5. 相手に目線を合わせてやさしい口調で

小柄な方の場合、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。

6. おだやかに、はっきりした話し方で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくり、はっきり話すように心がけます。

早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

7. 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。

地域の人ができること

認知症になっても、いきいきと生活できる、住みやすいまちをつくるには、家族や近所の人だけでなく、地域で暮らし、地域で働く多くの世代の方が認知症への理解をもって互いに支えあうことが大切です。

地域の人々の正しい理解と協力は、認知症の方と家族にとって大きな支えとなり、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を続けることにつながります。

認知症サポーター養成講座

●認知症サポーターとは

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の方とその家族を温かく見守り支える「応援者」です。日常生活の中で、周囲の人達のさりげない支援があると、認知症になっても住み慣れた地域に暮らし続けることができます。

たとえば・・・

- ・近所に住んでいる認知症の方に、困った様子があったときに「何かお手伝いすることはありますか？」などやさしく声をかける。
- ・道に迷っていたり様子が気になる方がいたら、まずは様子をそっと見守り、やさしく声をかける。など、できることから始めてみませんか？

●養成講座を受講してみませんか？

10人程度の方が集まる自治会や職場、サークルなどの集まりに合わせて養成講座を開催させていただきます。

◎受講時間 1時間半程度

◎費用 無料

※受講者には認知症サポーターの証である「オレンジリング」等をお渡しします。



※開催を希望される場合は、1か月前までにご連絡ください。
講師を調整のうえ、開催させていただきます。

学校

地域

商店

銀行

企業

●お問い合わせ

実施内容や開催日程の相談など、下記までお気軽にご連絡ください。

長寿福祉課 長寿福祉係 電話22-8299(直通)



オレンジカフェ

オレンジカフェ(認知症カフェ)とは、認知症の人やその家族、専門家、地域の住民などが気軽に集える場です。

安心して地域の住民などと交流が図れます。

オレンジカフェひた

オレンジカフェひた実行委員会により月に1~2回開催をしています。

コーヒーやお茶、お菓子等を準備しています。

時には参加者で音楽を奏でながら和やかな雰囲気、時には普段思っていることを話し合い、気持ちを分かち合いながら過ごせる場所です。

個別相談も行っています。



"楽しく笑顔で過ごせるひと時を"をモットーに「また来たい」と思っていただけのカフェを目指します。

開催会場などは、下記までお気軽にご連絡ください。

グループホーム花・花 電話 0973-26-3501

カフェ陽だまり(オレンジカフェ中津江)

月に1回開催をしています。

コーヒーやお茶、お菓子等を準備しています。

体操をしたり、日頃の悩みなどを話したり、おしゃべりしながら楽しむ場です。

どなたでも参加できます。

専門職も参加しており、認知症について学んだり、相談したりできます。

会場:中津江むらづくり役場 第2事務所

問合せ:中津江振興局 集落支援員 清田 電話 0973-54-3111



在宅介護者の集い

在宅で認知症の方を介護しているご家族や介護者を対象に、「在宅介護者の集い」を開催しています。

認知症等について、じっくり学び、同じ悩みを持つ仲間と自由に話し合うことで気持ちが楽になります。認知症でお悩みの方は、ぜひご相談ください。



●お問い合わせ

開催会場や日程など、下記までご連絡ください。

長寿福祉課 長寿福祉係 電話22-8299(直通)

もしもの時にそなえて



緊急連絡票

認知症により行方不明になる危険性が高い方について、いざというときに、緊急の連絡先や予想される搜索範囲などがわかるよう事前に市長寿福祉課に登録しておくことができます。

警察 23-2131 緊急連絡票		救急消防 119	
名前	生年月日	性別	年齢
住所(ここは)	地区	特記事項	
かかりつけ医			
緊急連絡先		サービス事業所	
1 (氏名・電話番号)			
2 (氏名・電話番号)			
3 (氏名・電話番号)			
担当ケアマネジャー(事業所名)			

見守りキーホルダー

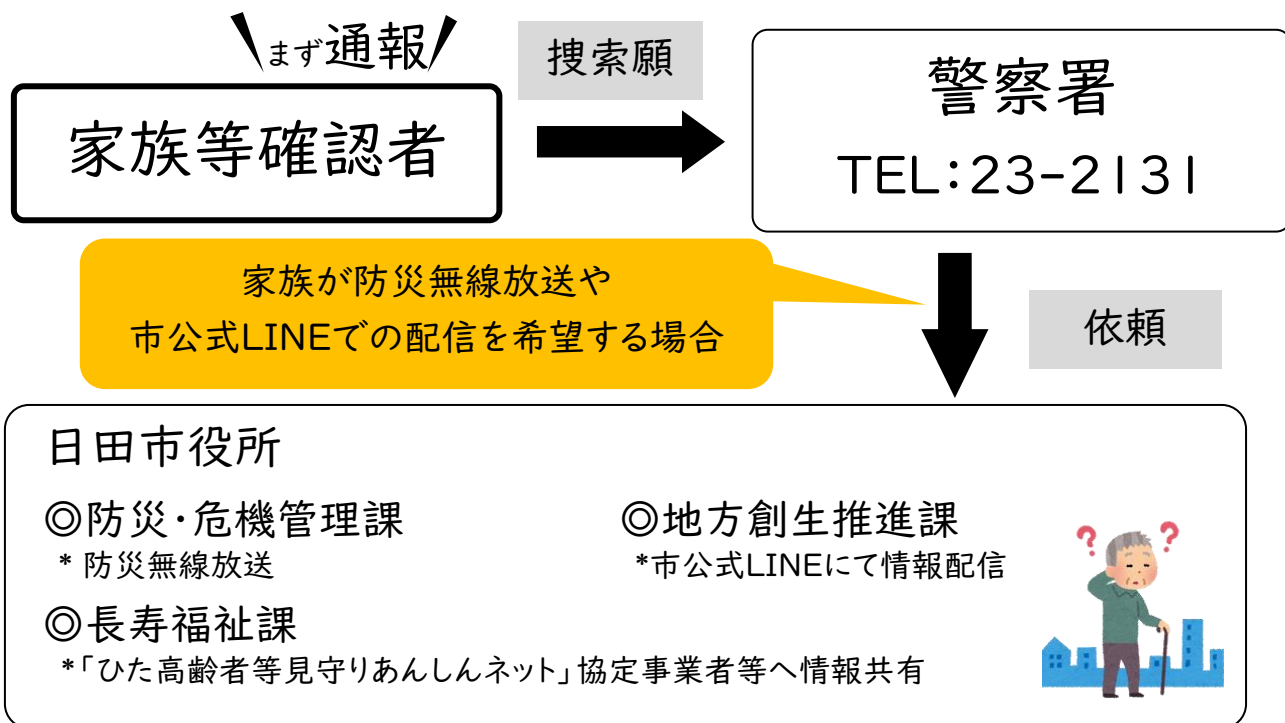
緊急連絡票の登録をされた方にお渡しをしています。

このキーホルダーをお持ちで、困っている方をお見かけしたら、キーホルダーに記載している連絡先にご連絡ください。



事前登録などに関するご相談は、地域包括支援センター、介護支援専門員(ケアマネジャー)または市長寿福祉課までお気軽にご連絡ください。

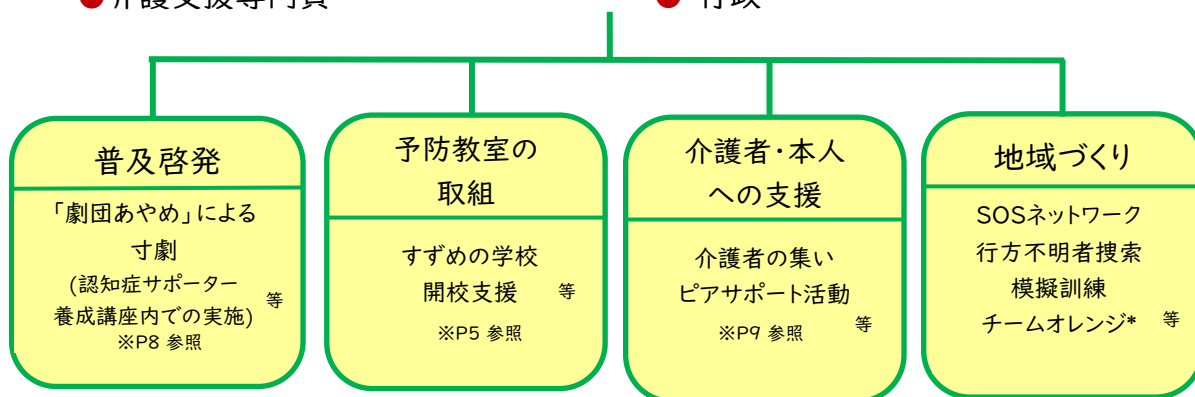
行方不明者発生時搜索フローチャート



日田市認知症支援体制づくりプロジェクト

認知症の人やその家族が、住み慣れた日田で安心して暮らすことができる地域を目指す中で、日田市認知症支援体制づくりプロジェクト(25機関)と協働しています。関係団体の代表者で構成されます。

- 医師
- 民生委員・児童委員
- 自治会
- 公民館
- 認知症作業療法士
- 認知症疾患医療センター相談員
- 認知症の人と家族の会
- 認知症本人
- 介護支援専門員
- 青年会議所
- グループホーム
- 社会福祉協議会
- 警察署
- 地域包括支援センター
- 生活支援コーディネーター
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症地域支援推進員
- 行政



劇団あやめ

「認知症になっても自分の住み慣れた地域で安心して暮らしたい」そんな思いを家族だけでなく、地域のみなさまにも知っていただくことを目的に活動しています。

認知症予防普及啓発劇 「おばあちゃんが認知症になった」

認知症になってしまったおばあちゃん。本人・家族の思いを考えながら地域の人々の協力も得ながら「認知症とは何か」を理解していただくお話です。

☆劇団員(家族介護の経験者、福祉施設職員や認知症本人、一般市民の方々など)でシナリオを考え、講演依頼のあった地域等に出向き、認知症の正しい理解のための普及啓発活動を行っています。



SOSネットワーク行方不明者搜索模擬訓練

高齢者の人口が増えるとともに認知症の人の人数も増えると予想されています。認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の人が行方不明になったときに備えて、地域住民を主体に搜索模擬訓練を行っています。訓練を通して、広く地域住民に認知症という病気を理解し、同時に認知症の人たちを地域で見守ることができる地域づくりを目的に行っています。



認知症行方不明者役が区内を歩き、見かけた住民(訓練参加者)が声掛けをします。



参加者には「認知症普及啓発のためのチラシ」等の配布を行います。

※内容は変更することがあります。

認知症とは？

誰でもなる可能性のある脳の病気です。認知症が進行すると、徐々に記憶障害や理解力、判断力の低下が進み、生活に支障が出てきます。

厚生労働省の発表では、認知症の人の人数は2025年には全国で700万人以上になると推計されています。日田市では約4,500人の人が認知症になると推計されています。

認知症は貴方や貴方のご家族もなる可能性のある病気。自分の事と考えて頂きたい病気です。

認知症に見られる症状は？

- 人それぞれですが、代表的な例は以下のとおりです。
- 新しい事が覚えられなくなった。
 - 同じ事を何度も繰り返し言ったり聞いたりする。
 - 財布や通帳・衣類等を盗られたと言ったりする。
 - 料理、計算、運転等のミスが多くなった。
 - 鍋やフライパンをよく焦がしてしまう。
 - 家に帰れなくなったり、慣れた道でも迷う事がある。
 - 性格が変わった(怒りっぽくなった、頑固になった等)。
 - 時間や日付、季節等がわからなくなった。
 - 数日前に買った事を忘れて、また同じ物を購入する。
-等々

認知症かも？と思ったら

認知症には早期発見・早期対応が重要です。

病気が進行してからでは、薬の効き目もあまり期待出来ないとされています。

原因となる病気によっては治療で劇的に良くなるケースもあります。

右上の症状が見られたり、「何か最近変だな？」と感じたら、すぐに、かかりつけ医に相談して下さい。

ご家族が気づいた時も同様に、**かかりつけ医に相談を!**

町で迷っている認知症の人に会ったら

基本的なポイントを紹介します。

- 1人で、正面からゆっくりと、優しく
 - 「どうかしましたか」「お困りですか」等と声をかけ
 - 名前、住所、連絡先を尋ねる
 - 連絡先がわかれば、すぐに知らせる
- ☆対応に困った時や連絡先が不明の場合等は
近くの交番や日田警察署へ



●お問い合わせ

実施内容や開催についての相談などは、下記までご連絡ください。

長寿福祉課 長寿福祉係 電話22-8299(直通)

*チームオレンジとは

認知症の方やその家族に必要な支援と、認知症サポーターを中心とした支援者をつなぎ、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりの具体的活動のこと。

私の思いカード

認知症と診断されたとき、ご本人をはじめ家族や周囲の人もすぐには受け入れられず、とまどったり混乱したりします。

認知症と診断されたとき、自分らしい生活を続けていくために、周囲の人にもご自身の考えを理解してもらうことが大切です。「どこで暮らしたいか」「医療や介護についての気持ち」などあなたの「思い」を大切な人と一緒に考えてみましょう。

私の思いカード

記入日 年 月 日

氏名 _____

大切な人と一緒にあなたの気持ちを考えてみましょう
どこから書いても構いません。
気持ちが変わった時は何度も書き直しましょう

作成：日田市在宅医療介護連携推進会議
(ひたメディアケアねっと) 8.4.8 第2版

希望する医療について

〔あなたの気持ちに近いものにチェックを入れてください〕

できるだけ治療をしてほしい

※希望する医療を丸で囲んでください
 ・投薬(飲み薬、注射など) ・点滴
 ・心臓蘇生(心臓マッサージ) ・人工呼吸器
 ・経鼻胃管(チューブを使い、鼻から栄養を入れる)
 ・胃ろう(胃に穴を開けて、チューブで栄養を入れる)

痛みや苦しみをとりのぞく治療をしてほしい

回復の見込みがなければ延命治療はしないでほしい

何故そう思うのか書いてみましょう

介護をお願いしたい人など

〔あなたの気持ちに近いものにチェックを入れてください〕

家族等(名前: _____)
(あなたとの続柄: _____)

(名前: _____)
(あなたとの続柄: _____)

(名前: _____)
(あなたとの続柄: _____)

その他(名前: _____)
(あなたとの関係: _____)

施設入所

家族や親族以外に もしもの時、会いたい人、 知らせたい人を書いて みましょう

名前 _____
(連絡先 _____)
(あなたとの関係: _____)

名前 _____
(連絡先 _____)
(あなたとの関係: _____)

名前 _____
(連絡先 _____)
(あなたとの関係: _____)

自分が動けなくなったら
して欲しい事、して欲しくない事など

名前 _____
(続柄: _____)

連絡先 _____

の意見を尊重して
決めてください

病気や事故などで自分の意思表示
ができない場合、あなたの気持ちを
伝えてくれる人を書いてみましょう

「記入例」
思い出の品(_____)を
身近に置いて欲しい

人生の最期をどこで 過ごしたいですか？

〔あなたの気持ちに近いものにチェックを入れてください〕

自宅

病院

施設

家族の判断に任せる

何故そう思うのか書いてみましょう

あなたが大切にしている事 伝えたい事を自由に記入して下さい

「記入例」
好きな食べ物(_____)を食べたい
ペットを(_____)に託したい
(_____)をして欲しくない

この「私の思いカード」は、ひたメディケアねっと(日田市在宅医療介護連携推進会議)により作成したものです。

市長寿福祉課、各地域包括支援センター、市内医療機関の窓口に備えています。

豊かな人生のみちしるべとして、ご利用ください。



認知症ケアパス～認知症の経過と対応～

認知症の経過は、原因疾患や身体状況などにより異なります。必ずしもこの通りに進むわけではありませんが、今後どのような支援・サービスを受けられるのか、大まかに見通す参考としてください。

		気付き～軽度		中等度		高度	
認知症の人の生活機能障害		認知症の疑い	症状はあっても日常生活はほぼ自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要	
本人の様子 〔見られる症状や行動の例〕		●物忘れが目立ち始める	●小銭での支払いができない ●同じものを何回も買う ●食事の支度等、判断を必要とする行為が難しくなる	●服薬管理や電話対応、訪問者への対応などが一人では難しい ●たびたび道に迷う ●日付や季節の感覚がわかりにくくなる	●着替えや食事、トイレ等がうまくできない ●家族の顔や人間関係がわからなくなる	●ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい ●飲み込みが悪くなり食事介助が必要 ●言葉によるコミュニケーションが難しい	
支援のポイント		■まずは医療機関や相談機関に相談する ■周囲が上手にサポートし、本人の不安を和らげる ■安心してすごせる居場所や仲間を増やす ■医療や介護の方針、財産管理等将来を見据え準備をする	■家族だけでなく地域の人も含め見守る人を増やす ■火の始末等安全対策を考える ■かかりつけ医や専門医などの医療のサポートを受ける ■本人の状態に合わせた介護サポートを検討する		■本人の希望や状態に合わせた介護と看護を充実させる ■見守りの体制を充実させる ■悪徳商法などから守る ■しぐさや表情など言葉以外のコミュニケーションを工夫する ■必要に応じ住まいの環境整備や、施設等への住替えを検討する ■看取りに備え医療・介護の専門家と相談する		
認知症の人を支援する体制	相談	地域包括支援センター 介護支援専門員(ケアマネジャー) 市長寿福祉課、認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム					
	医療	かかりつけ医、大分オレンジドクター、認知症サポート医、大分県認知症疾患医療センター 訪問診療、訪問看護					
	介護予防 悪化予防	認知症予防教室(すずめの学校) 生きがいサロン、老人クラブ活動、地域でのサロンや集いの場等 オレンジカフェ		【介護予防・日常生活総合支援事業】通所型サービス、訪問型サービス			
	介護			【訪問】訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション等 【通い・泊まり】通所介護(デイサービス)、通所リハビリテーション(デイケア)、短期入所生活介護(ショートステイ)等 【地域密着型】小規模多機能型居宅介護(通い・訪問・泊まりの組み合わせ)、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、グループホーム等 【環境整備】福祉用具貸与、特定福祉用具購入費支給、住宅改修費支給		【施設】介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院	
	生活支援 見守り	食の自立支援事業(配食サービス)、家族介護用品支給事業(おむつ等)等 シルバー人材センター、日田ハートクラブ 日常生活自立支援事業(あんしんサポートセンター日田)、成年後見制度 民生児童委員、地域の見守り、日田市老人クラブ連合会 友愛訪問、高齢者等見守りあんしんネット、緊急通報装置、SOSネットワーク(事前登録・見守りキーホルダー)					
	住まい	養護老人ホーム、生活支援ハウス、軽費老人ホーム(ケアハウス)、シルバーハウジング		介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院			

認知症に関する相談窓口・医療機関



相談窓口

	住 所	電話番号	担当地区
中央地域包括支援センター	日田市中ノ島町	23-2552	隈庄手・竹田・田島 咸宜・桂林
西部地域包括支援センター	日田市日ノ出町	26-0036	光岡・三花・小野 大鶴・朝日・夜明
東部地域包括支援センター	日田市石井町1丁目	22-0248	五和・高瀬・三芳 西有田・東有田
南部地域包括支援センター	日田市天瀬町桜竹	57-9012	上津江・前津江・中津江 大山・天瀬
認知症地域支援推進員	日田市日ノ出町	26-0036	全 域
認知症初期集中支援チーム			
市役所 長寿福祉課	日田市田島2丁目	22-8299	

	住 所	電話番号
公益社団法人 認知症の人と家族の会 大分県支部	大分市明野東3丁目4番1号 (大分県社会福祉介護研修センター内)	097-552-6897
若年性認知症支援 コーディネーター		097-552-6897 (10:00~15:00) (火・水・木・金・土曜日) ※祝日は除く

専門医療機関



認知症疾患医療センター

大分県が指定している医療機関です。認知症の相談に対応し、必要に応じて診療や地域の専門医療機関の紹介等を行います。

	住 所	電話番号
上野公園病院	日田市大字高瀬2226-1	22-7723

大分オレンジドクター（もの忘れ・認知症相談医）

認知症の相談を受けられる医師のことで、

ご本人やご家族の方で、もの忘れや認知症が気になったら、早めにお近くの大分オレンジドクターへご相談してください。

相談にあたっては、原則、診察料がかかります。

（令和5年5月末時点）

医療機関名	住 所	氏名	電話番号
医療法人秋芳会 秋吉病院	日田市豆田町5番20号	秋吉 貴文	23-0808
医療法人百花会 上野公園病院	日田市大字高瀬字篠原2226-1	大神 博央	22-7723
医療法人百花会 上野公園病院	日田市大字高瀬字篠原2226-1	長野 浩志	22-7723
医療法人悠然会 大河原病院	日田市隈2丁目3-11	大河原 建也	22-3131
大分県済生会日田病院	日田市大字三和643番地の7	大坪 仁	24-1100
大分県済生会日田病院	日田市大字三和643番地の7	佐藤 新平	24-1100
奥平医院	日田市中津江村栃野2970番地の8	奥平 卓巳	54-3021
隈診療所	日田市隈1丁目2-31	宮崎 秀人	22-0033
五反田病院	日田市大字竹田395番地の1	五反田 幸人	23-8386
老人保健施設 六和会センチナリアン	日田市大山町東大山14-4	荒川 佳奈	57-8066
聖陵花月クリニック	日田市大字三和931番地の6	井原 亮	27-5050
介護老人保健施設 聖陵ストリーム	日田市大字庄手字中釣484	山田 和典	26-3111
医療法人恒心会 膳所医院	日田市本町8番32号	膳所 和彦	22-3292
新関内科医院	日田市田島2丁目4番9号	新関 修	24-3355
新関内科医院	日田市田島2丁目4番9号	新関 寛	24-3355
日田石井町クリニック	日田市大字石井580番地1	荻野 英夫	23-8123
日田市立東溪診療所	日田市天瀬町合田1994番地1	後藤 浩	57-2500
医療法人蒼龍会 日野内科	日田市大字三和39番地1	日野 英忠	23-6009
日田中央病院	日田市淡窓2丁目5番17号	松田 裕之	23-3181
日田中央病院	日田市淡窓2丁目5番17号	渡邊 俊治	23-3181
日田市立上津江診療所	日田市上津江町川原3933番地	山崎 世紀	54-3001
福田医院	日田市清岸寺町1150-1	福田 玲子	22-1648
松浦クリニック	日田市中央1丁目5-4	松浦 達雄	24-4155
医療法人寿隆々会 渡辺医院	日田市大山町西大山3447番地の4	渡邊 隆太郎	52-2017

平成30年 3月 初版発行
平成30年12月 2版発行
令和 元年12月 3版発行
令和 3年 2月 4版発行
令和 4年 3月 5版発行
令和 6年 1月 6版発行
発 行 日田市
編 集 日田市福祉保健部長寿福祉課